

令和4年10月教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和4年10月14日（金） 開会 午後3時30分
閉会 午後4時25分

2 場 所 旭市役所3階政策決定室

3 出席委員 諸持 耕太郎（教育長）
鏑木 俊一（教育長職務代理者）
鈴木 典男
富山 理
平野 勝久

4 出席職員

教育総務課長	向後 稔
学校教育指導室長	齊藤 実
生涯学習課長	伊藤 弘行
体育振興課長	金杉 高春
教育総務課副課長	江ヶ寄 基道
教育総務課副課長	中川 浩
生涯学習課副課長	加瀬 美智子
生涯学習課副課長	飯嶋 一男
体育振興課副課長	遠藤 敏晴
教育総務課総務班副主幹	宮内 和美

5 教育長開会宣言

6 教育長挨拶

- ・9月後半から最近まで雨が結構多かったように感じていますが、この間、各学校では運動会や修学旅行を無事終えているようです。
コロナ感染状況も落ち着いており、このままインフルエンザの時期も静かに推移してほしいと願っているところです。
- ・さてこの秋、生涯学習課では旭市ふるさと文芸賞を創設、9月末に応募が締め切られ、今後は作品審査に向けて準備しているところです。
また、大原幽学記念館では、来年秋に予定されている熊野神社神幸祭の特別企画展を開催しているところです。
- ・さらに体育振興課では、これも新規事業であるあさひスポーツフェスティバルやぼるぼるの準備に全力を挙げているところです。

- ・本日は1件の議案が上程されておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

7 会議録署名委員の指名 鈴木 典男委員 富山 理委員

8 教育委員会報告

- ・資料により委員会報告及び行事予定を説明する。

9 議案

議案第15号 旭市社会体育施設の指定管理者に関する意見について

【教育長】

- ・議案第15号は、議会に対する意見の申出であるため「旭市教育委員会会議規則第8条第1項第4号」の規定により、非公開とすることについて諮る。
- ・全会一致で非公開と決定し、職員の退席は求めない。

〈これより非公開〉

議案第15号 旭市社会体育施設の指定管理者に関する意見について

- ・議案第15号については、全会一致で可決する。

〈非公開を解く〉

10 その他

【教育総務課長】

- ・旭市議会第3回定例会一般質問5件について報告する。
 - 旭市立保育所再編計画について
 - ・青年の家跡地に保育所を計画するのであれば、これからの少子化を考慮し、隣の給食センターから給食の提供はできないか
 - 学校や保育所等における子どもの事故予防について
 - ・学校や保育所での安全計画の内容を、地域と共有し適宜見直していくべきと考えるが見解を伺う
 - 学校教育の充実について
 - ・中学校の運動部活動を今後3年間で地域移行を図るという国からの指針が示されたが、本市の計画と今後の取り組みはどうなっているのか
 - 学校の再編について
 - ・再編計画の中に小中一貫校は選択肢にあるのか
 - 再編後に廃校となる学校の活用方法はいつ、どのように決めるのか

○市長の選挙公約について

- ・学校給食費の完全無償化や結婚祝い金100万円支給の検討状況は

【教育総務課長】

- ・干潟小学校台風被害について報告する。
- ・「給食だより」を配布する。

【学校教育指導室長】

- ・教育活動の現況報告について報告する。
 - ① 新型コロナウイルス感染症関連
 - ② ICT教育関連について

【体育振興課長】

- ・第2回ぼるぼろについて報告する。
- ・あさひスポーツフェスティバル2022について報告する。
- ・旭市民駅伝大会について報告する。

《質疑》

【委員】

- ・タブレットの活用についてですが、若手にとっては受け入れやすく、よく理解していると思うのですが、年数を重ねた人にとってはかなり厳しいものがあると思います。いろいろ説明がありましたが、年数を重ねた人達がどのようにその指導、技術を身につけていくか大きな課題のような気がします。

【学校教育指導室長】

- ・旭市独自で行っているICT支援員が、各学校に行って一つ一つの操作の方法等を説明して、教職員が身につくように研修会を行っています。それから、1年生の担任になった時に、その先生方が、子供達にどこまで出来るようにすれば良いのかということが、担任によって、これができたりできなかったり、差ができてしまうのは非常に良くないので、まずは先生方がスキルアップし、子供達も均一にできるようにしていくというところも目標の一つにあるところでは。

【委員】

- ・デジタル教科書のことも結構話題に上がっていますが、中には教科書が第一で、タブレットを使うというのは補助的なものだという意見もあります。年数を重ねた人達は、ほとんど紙でやってきた、教科書でやってきたという人、若い人というのは、今の身近な生活に山ほどありそれに慣れていることで、校内の中で、若手と年数を重ねた人達が組んで、研究や課題を進めていくこ

とで、その技術も身につけ、若い人は教科書だけでやってきた人達の指導力を得ることができます。このように行っていくことで、両者にとってプラスがあるように思います。前会の定例会で、ICTの研修にあまりにも多くの時間がかかるという働き方改革の問題がありましたが、そういった組み合わせによって、解消していくということも一つの方法としてあるのではないかと思います。

【学校教育指導室長】

- ・はい、ありがとうございます。委員のおっしゃったような課題があると思いますので、その辺もICT支援委員会、また校長会等で学校の意識改革、より良い体制づくりというものを、教育委員会が中心になって推進していけたらと考えております。

【教育長】

- ・次回の教育委員会定例会は、11月17日（木）午後3時00分に開会することに決定する。

1 1 教育長閉会宣言